

アメリカに行くと、日本のことをたくさんの人に知ってほしい、そして自分自身を見つめ直したい。これが私が最初に心に決めた目標だった。成田からサンフランシスコへ向かう夢のジェット機は九時間という長い時を経てアメリカの地に舞い降りた。

見るもの全てが新鮮な世界。ただ感動するばかりだった。日本とは似ても似つかない風景だが、人々が長い年月の中で、自然と向き合い、工夫しながら創ってきたものかと思うと、なんだか身近に感じられた。こんな感動の連続から始まったこの旅で、いろいろなところを見て回ったが、そこにはいつも人との出会いがあり、その出会いとともに感動があった。アメリカカンライフ一日目、「感謝の気持ちなしに本当の感動は



アメリカの家族はみんなあんなのだろうか。何かちよつとでもかかると、すこほめられる。やっぱりうれいものだ。そのうち私も家族の良ところが見え始め、自然とその良ところが口にするようになった。

「アメリカの人々は自分の考えをはっきり口に出す」と聞いていたが、それは単に積極的だけでなく、相手の意見も聞くことができるからこそではないかと思う。自分以外の人の意見を聞いて尊重できるからこそ、お互いを認めあえる。そして「自分の意見をはっきり言う」ということが日常の会話の中で成立するのだと思う。このことは、私も学ばなければならないことだ。これをこれらの私の課題にしていこうと思う。そして、さらに自分自身を成長させるための課題を見つけていこうと思う。

わがまち自慢

文化創造への第一ページ
【鏡町文化センター】

紹介者 田中 康紀さん

八代平野の中央、いくさの産地鏡町に、文化ホール・図書館・公民館からなる文化センターが、今年4月に誕生しました。図書館は、小さい子どもからお年寄りまで楽しめるように、本や絵本、雑誌などを幅広く揃えてあり、地域住民の皆さんの利用で賑わっています。文化ホールは、多目的に使えますが、特に音響が良



●お問い合わせ先/鏡町文化センター ☎0965-52-1114



熊本県立湧心館高校 1年 片山 千尋さん

21世紀へ

若者グラフィティ

アメリカン・ロッキーの翼に参加して

「アメリカの文化はほんの少し分かったように思う。今考えれば笑ってしまうような出来事も、その時は必死でも動揺した。物を買う時もまだコインの分けがつかず、ずいぶん店の人に助けられた。ゲームの仕方を教えてもらったり、わざわざ飲み物が飲める所まで連れていってくれた人もいた。

さあ、待ちに待ったホームステイ！期待の間に少しの不安を挟んだまま、私の一週間のホームステイ生活がスタートした。ここでの一週間は、たくさんの出来事で溢れそうだった。あまりに自身の詰まった日々だったので、なんだか日本での生活が寂しく物足りなく感じるくらいだ。

アメリカの家族はみんなあんなのだろうか。何かちよつとでもかかると、すこほめられる。やっぱりうれいものだ。そのうち私も家族の良ところが見え始め、自然とその良ところが口にするようになった。



「アメリカの人々は自分の考えをはっきり口に出す」と聞いていたが、それは単に積極的だけでなく、相手の意見も聞くことができるからこそではないかと思う。自分以外の人の意見を聞いて尊重できるからこそ、お互いを認めあえる。そして「自分の意見をはっきり言う」ということが日常の会話の中で成立するのだと思う。このことは、私も学ばなければならないことだ。これをこれらの私の課題にしていこうと思う。そして、さらに自分自身を成長させるための課題を見つけていこうと思う。

わがまち自慢

豊かな自然に恵まれたふれあいの場
【俵山交流館「萌の里」】

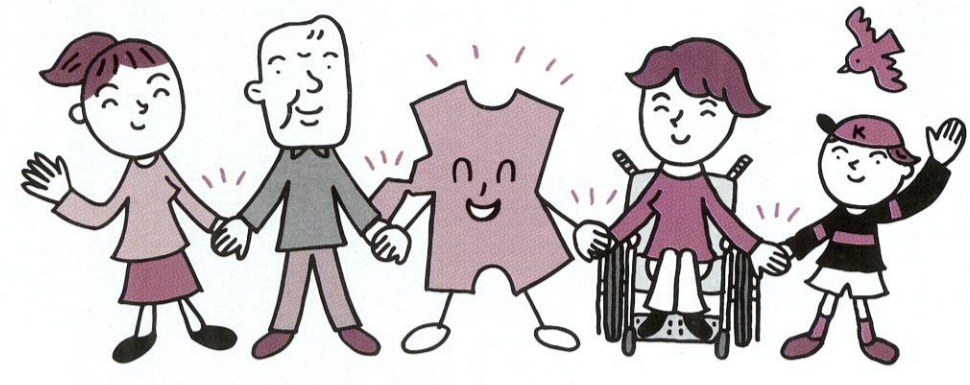
紹介者 坂西 義成さん

俵山をバックに建てられている「萌の里」は、木作りのすてきな建物です。店内では、手作りの加工食品、手工芸品、新鮮な農産物が販売されており、他にソフトクリームや田舎料理を味わうこともできます。今までにイベントとしてオカリナやジャズのコンサートが行われ、たくさんの方を魅了しました。また、陶芸を体験する工房があり、人気を集



●お問い合わせ先/西原村企画振興課 ☎096-279-3111

特集2 新しい県総合計画を作っています



県では、来年春の策定に向けて、新しい県の総合計画を検討中です。新しい計画は、21世紀を迎える「新しいくまもとづくり」を目指します。これまでに、県内の有識者で構成される委員会などを開催するとともに、県民の皆さんからのご意見(県からのたより6月号で募集)など、多くの方々から寄せられた貴重なご提案を踏まえ、計画案の検討を行っています。今回は、一応のとりまとめを行った計画の総論部分にあたる基本構想案の概要をお知らせします。今後はこれに基づき、具体的な施策を検討していきます。

●計画期間 平成12年から平成22年(2010年)までの11年間で。

熊本県の課題

現在を「変革と再構築の時代」ととらえ、次のような課題に取り組みます。

- 産業**
 - 全国との所得格差の縮小
 - 新たな成長産業への取り組みと経営革新の推進
 - 力強い農林水産業の振興
 - 商店街の賑わいの再生
 - 産業の国際化への対応
- 基盤**
 - 道路、上下水道、公園などの社会基盤の整備
 - 多い自然災害への対応
 - 水資源・エネルギーの確保
 - 高度情報化への対応と科学技術の振興
- ひと、生活**
 - 全ての人々の人権の尊重
 - 少子・高齢化の進展への対応
 - やさしいまちづくりの推進
 - 健やかでたくましい子どもたちの育成
 - 生涯学習、文化・スポーツの振興
- 環境**
 - 環境に配慮した社会の実現
 - 環境保全の取り組みの推進
 - 環境と開発との調和
- 協働**
 - 男女共同参画社会づくり
 - NPOやボランティア活動の推進
 - 参加と連携による魅力ある地域づくり
 - 国際化の推進

基本姿勢と基本目標(案)

基本姿勢

21世紀への責任と挑戦

行政はもとより、県民、企業、団体が、社会を構成する一員としての「自己責任」と「将来世代への責任」を持ち、住みよい社会づくりや基盤整備、環境の保全など、21世紀を迎えるにあたってのさまざまな課題に積極果敢に「挑戦」していくことが必要です。

基本目標

創造にあふれ、「生命が脈うつ」くまもと

新たな「創造」に向けた取り組みを行い、産業や教育、文化、環境などさまざまな分野で、多彩な「生命」が脈うつような、そんな新しい熊本づくりを目指します。

具体的には、
 「新世紀を拓く産業が息づくくまもと」
 「新世紀を支える基盤が充実するくまもと」
 「新世紀に生きる『ひと』が輝くくまもと」
 「次の世代へ継承する豊かな環境を育むくまもと」
 「新世紀とともに築く『協働社会』くまもと」
 を目指します。

●新しい総合計画についてのご意見を募集しています。
 これまでに県民の方々から、生活に身近な環境や福祉の問題など幅広い分野について多くのご意見が寄せられました。今後もご意見をお寄せ下さい。お待ちしております。皆さんの声は新しい計画づくりに生かしていきます。

- (主なご意見)
- 雇用問題と景気対策に力を入れて欲しい。産業全体の技術革新を。
 - 交通問題を解決して欲しい。公共交通が利用しにくいと思います。
 - お年寄りが生き甲斐を持って活躍できる場を作って欲しい。
 - 子どもたちが学校などで地域の人たちと楽しく触れあえる場づくりを。
 - ゴミの減量化とリサイクルの推進を。意識の高まりが大切。
 - 開かれた行政のために、積極的な情報発信を求めます。

●「くまもとの未来」絵画コンクールへの応募、ありがとうございました。小・中学生から、夢や希望がいっぱい話まった約800点の作品が寄せられました。審査のうえ、入賞作品は来春発表する予定です。

■ご意見の送付先/熊本県企画調整課
 FAX 096-385-8386
 〒862-8570 (県庁の住所は不要です)

■お問い合わせ先/熊本県企画調整課 ☎096-383-1111 (内線3623)